

平成20年度第9回医学部医の倫理委員会議事要旨

日 時 平成20年12月22日(月) 15時00分～15時50分
場 所 本部棟5階 第一会議室
出席者 小林委員長、原田委員、竹下委員、塩飽委員、内田委員、堀口委員、
猪原委員、清水委員
欠席者 大平委員、堀江委員、瀬戸委員

委員以外の出席者 板倉講師(消化器・総合外科)、森山助教(腫瘍センター)

- 本委員会は、本学医学部医の倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 平成20年11月26日開催の第8回学部医の倫理委員会の議事要旨を了承した。

議題

1. 人間を対象とする医学の研究及び臨床応用申請書の審査について

- (1) 課題名：乳癌における血清中抗 p53 抗体測定の有用性に関する臨床的検討
・・・・・・・・・・資料1

小林委員長より、資料1のとおり消化器・総合外科 板倉講師から申請があり、予備審査を12月10日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の板倉講師から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続き審議の結果、申請者により訂正が行われたことを委員長が確認した時をもって、本件申請について医の倫理委員会の承認通知を行うこととした。

- (2) 課題名：化学療法時における消化管傷害と Diamine oxidase 活性に関する探索的検討
・・・・・・・・・・資料2

小林委員長より、資料2のとおり腫瘍センター 森山助教から申請があり、予備審査を12月10日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の森山助教から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等

の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、申請者により訂正が行われたことを委員長が確認した時をもって、本件申請について医の倫理委員会の承認通知を行うこととした。

(3) 課題名：レストレスレッグス（むずむず脚）症候群患者でのクロナゼパムからプラミペキソールへの切替えに関する検討

・・・・・・・・・・資料3

小林委員長より、資料3のとおり精神医学 堀口教授から申請があり、予備審査を11月12日に実施し予備審査委員会として承認したので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の堀口教授から研究等の概要、研究協力依頼の説明書、同意書等の説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、申請者により訂正が行われたことを委員長が確認した時をもって、本件申請について医の倫理委員会の承認通知を行うこととした。

2. 迅速審査及び仮判定結果について

小林委員長から、平成20年12月11日付けで通知した下記申請書2件に係る迅速審査及び仮判定結果については、委員の方から「異議はない」旨の回答があったので、医の倫理委員会として承認した旨報告があった。

記

(1) 申請者：環境生理学 教授 紫 藤 治

課題名：みどりの香りが精神的ストレスに対するヒトの生理機能応答に及ぼす影響

仮判定結果：承認

(2) 申請者：麻酔科学 教授 齊 藤 洋 司

課題名：日本人慢性疼痛患者における神経障害性疼痛スクリーニング質問票に関する臨床研究

仮判定結果：承認

○ 次回の医の倫理委員会は、平成21年1月26日（月）15時からとした。